

(別紙)

優良繁殖雌牛導入支援の貸付対象牛採択要件のうち
「長野県が推奨する雌牛」の採択基準について

採択基準

父牛又母牛の推定育種価又は期待育種価が判明している雌牛のうち、「枝肉重量」の推定育種価又は期待育種価が上位 1/2 以内

採択基準の考え方

「長野県家畜・鶏改良増殖計画（平成 28 年度～平成 37 年度）」においては、肉質等級は維持しつつ、枝肉重量の増加及び出荷月齢の短縮を目指しており、増体能力の改良に重点をおいている。

他方、本県では高齢化による飼養戸数の減少、これに伴う肉用牛飼養戸数の減少等生産基盤の弱体化が懸念される中、本事業は繁殖雌牛の増頭に直接的に支援する手段として有効に推進を図りたいところであり、その採択にあたっては、生産者の増頭意欲を維持しやすい基準である必要がある。

このため、採択基準では、重点を置くべき増体能力として直接関係する「枝肉重量」に着目し、標準以上（上位 1/2 以内）の能力を有する個体とする。

<参考 1> 黒毛和種去勢肥育の目標数値

	現在		目標	差
肉質等級	4.0	→	4.0	±0
枝肉重量	486kg	→	490kg	+4kg
肥育終了月齢	29 か月	→	26 か月	-3 か月
(肥育開始月齢)	(8.6 か月)		(8 か月)	(-0.6 か月)
(肥育期間)	(20.4 か月)		(18 か月)	(-2.4 か月)

(長野県家畜・鶏改良増殖計画（平成 28 年度～平成 37 年度）より)

<参考 2> 肉用牛飼養構造

	現在		目標	差
繁殖雌牛	3,390 頭	→	3,400 頭	+10 頭
繁殖経営	2,448 頭	→	2,290	-158 頭
肉専肥育	942 頭	→	1,110 頭	+168 頭

(長野県酪農・肉用牛生産近代化計画（平成 28 年 9 月）より)